



# 躍進と挑戦

## 2004



THE GLOBAL ALLIANCE FOR  
VACCINES & IMMUNIZATION

[www.vaccinealliance.org](http://www.vaccinealliance.org)



[www.vaccinefund.org](http://www.vaccinefund.org)

# 躍進の4年間

ワクチンはこれまでに発明された極めて重要なヘルスケアのツールといえます。注射や点滴を数回行うだけで、命にかかわる病や身体障害を招く疾病から生涯にわたってほぼ確実に健康を守ることができます。この事実は予防医療の現場に大きな変化をもたらしました。ワクチンにより年間数百万人の命が救われています。

どこから見ても、素晴らしい結果だ。私がこれまで行った中で、最も有意義な投資である。

ビル&メリンダ・ゲイツ財団  
共同設立者 ビル・ゲイツ

それにもかかわらず、ワクチンの普及から数十年が経過した今、先進国社会においてワクチンに対する関心が薄れています。かつて多くの人々やコミュニティを脅かした疾病がほとんど見られなくなるとともに、ワクチン接種に対する世界的な取り組みの継続いかんでこの平和が脆くも崩れてしまうという事実が忘れられつつあります。

一方、発展途上国の多くでは依然として恐怖が続いており、ワクチン接種を受けることができない子供の数は年間3,000万人に上ると見られ、簡単に防ぐことのできる病気によって年間200~300万人の子供の命が奪われています。また、さらに多くの人々が病に倒れ、教育の機会を奪われ、病気がちなために成人してからも貧困が続くという悪循環に陥っています。

予防接種の現場の活性化を図るワクチンと予防接種のための世界ワクチン接種同盟 (GAVI) が2000年に組織化されました。この新しい官

民パートナーシップは、発展途上国と先進国の政府、ワクチン製造メーカー、非政府組織 (NGO)、研究機関、ユニセフ、世界保健機関 (WHO)、ビル&メリンダ・ゲイツ基金、そして世界銀行が参加しています。

さらに、この提携関係を強力なものにしているのは、GAVIのパートナーによって設立されたワクチン基金の存在です。新たな資金供給源を開拓して世界の最貧国に対して数年間にわたって助成金を付与しています。予防接種サービスの向上と新型および既存ワクチンの導入を通じて、発展途上国の医療制度を強化しています。

パートナーシップ開始から4年が経過し、これまでに多くの成果が挙げられました。GAVIの支援を通して50万人以上の命が救われています<sup>1</sup>。世界の健康増進のうち、過去に類を見ないほど最も急上昇した例として、3,500万人以上<sup>2</sup>の子供たちを対象にB型肝炎の予防注射を行ったことが挙げられます。これは、これまでに実施されたガンの予防活動として最大のものです。B型肝炎ウイルスは幼少時に感染するケースが多いものの、その影響が出始めるのは働き盛りになってからで、肝臓ガンや肝硬変を発症します。発展途上国では治療費が法外に高く、直ちに死に至る病となっています。

また、ヘモフィラス・インフルエンザ菌タイプB (Hib) のワクチンを導入した国々では Hib による髄膜炎が激減しました。この厄介な疾病のために、年間40万人以上の子供たちが命を落とし、さらに多くの子供たちに身体的な障害が見られています。さらに、多くの国々が予防接種の範囲を広げ、新たに800万人以上の子供

<sup>1</sup> GAVIワクチン基金の支援を受けた国々で、予防接種を受けた乳児数と、ワクチンで予防可能な疾病数をもとに、(生涯の間に) 死亡を回避できた累積数を GAVI 事務局が推定 (2003年12月時点)。

<sup>2</sup> 2001~2002年に予防接種を受けた乳児数と、各国が GAVI に報告した2003年の予防接種目標人数をもとに、GAVI 事務局が推定。

たちが基本的な予防接種を受けています。

GAVI は、ワクチンの製造現場にも変化をもたらしています。多くの発展途上国では、ジフテリア、破傷風、百日咳、B 型肝炎のワクチンを一本の注射にまとめた製品が非常に望ましいものとなっていますが、メーカーは 1 社しか存在していないのが現状です。しかし、2006 年までにこのワクチンをユニセフに対し供給するプログラムに納入業者 11 社が入札しています。

その一方で、GAVI が支援する「開発促進と導入計画」は、ロタウイルスおよび肺炎球菌感染症のワクチン開発に、公衆衛生関連団体の早期の参加を目指しており、適切なワクチンが開発された場合に、できるだけ早く最貧諸国の子供たちがこれを確実に受けられるようにすることを目指しています。

各国が自国の医療制度を長期的に強化すれば、毎年より多くの子供たちに医療を施すことができます。最大の課題の一つは、これを支援する方法を見つけることです。改善が確実に長続きするよう、制度全体に及ぶ障壁を取り除かなければなりません。

そして、多くの国で目覚ましい進展が見られています。ウガンダでは、政府のコミットメントと地域社会を動員する革新的な取り組みを通じ、予防接種の範囲を急速に広げています。マダガスカルは深刻な政治的危機を切り抜けて国民の健康状態を改善させ、アフガニスタンは重大な政治的問題や戦争を乗り越えつつあり、子供たちに予防接種を受けさせることが可能になっています。これらの国々は、最も困難な状況下でも前向きな変化は可能である事を示しています。

## GAVI の目的

GAVI の使命は、ワクチンの使用を広めて子供たちの命を守り、人々の健康を向上させることです。主な活動として以下に注力しています。

すべての必要なワクチンへのアクセスを高める	予防接種を含め、最も重要な医療サービスを提供するため、その地域の医療施設の強化に重点的に取り組む
発展途上国において、あるワクチンの投入から全面的な使用までの期間を短縮する	最初は、B 型肝炎、ヘモフィラス・インフルエンザ菌タイプ B (Hib)、そして以前からある黄熱病のワクチンに重点的に取り組む
新しいワクチンの開発と導入を促進する	完成が近いロタウイルス、肺炎球菌、A 群髄膜炎のワクチンに重点的に取り組む

# 躍進

## 最も貧しい子供たちを助けるため、範囲が急激に拡大

GAVI のパートナーは、GAVI を通じて優先順位の合意に達し、ワクチン基金の大きな財政的援助を得て、新しい開発補助金プログラムを発足させました。その結果、わずか4年で多くの国において健康状態が改善されたのです。最初のステップは、最も効果的で長期的な影響力を持つ、正しい支援案を策定することでした。

世界の開発コミュニティでは、貧困を効果的に削減するための援助のあるべき形として、以下の点が一般に認識されています。

- 最貧国、および各国の最貧層に焦点を当てる
- 費用効率が最も高い援助方法、および使いやすい技術を用いて範囲を拡大する
- 実績に応じて資金提供する
- 予見可能性を高めて、購入費用を削減する
- 持続力を高める
- どの国を優先するかに従って計画を策定し、医療財政支援やプログラムと調整する
- 監視や評価を行う強力な部門を設置する

GAVI は調査コミュニティの教訓を受け、少数の「モデル国家」を選定するのではなく、ワクチン基金の支援が妥当なすべての国々に対し、申請するよう要請しています。この新しいアプローチはボトムアップの迅速な反応に繋がり、政治レベルの需要を喚起しています。

2001年にはすでに53カ国が支援の認可を受けており、2003年末までには75の対象国のうち69カ国が認可されました。ワクチン、安全用具、その他、総額2億3,600万米ドル相当の資金援助が行われ、これらの国々の予防接種プログラムの改善に充てられました。

蓄積効果<sup>1</sup>に関する現在の推定によると、B型肝炎のワクチン接種を受けた子供たちは3,550万人、Hibのワクチン接種を受けた子供たちは600万人、黄熱病のワクチン接種を受けた子供たちは270万人、基本的なワクチン接種を受けた子供たちは800万人以上に上ります。

**乳児と妊婦の死亡率を削減することは、道徳面や実際面から必要なだけでなく、「ミレニアム開発目標」に参加したすべての国家が誓約したことである。**

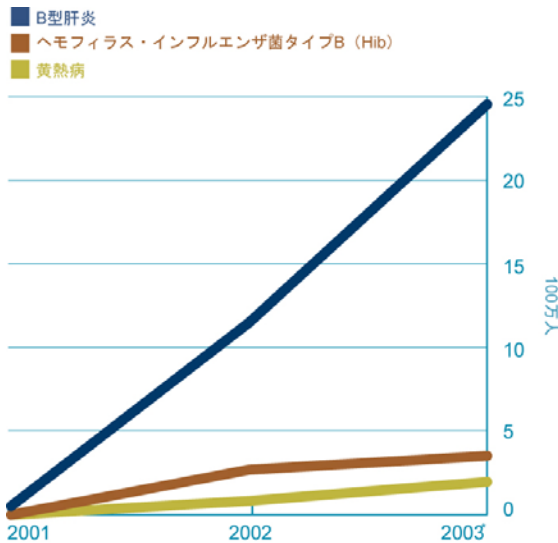
WHO事務局長兼 GAVI 理事長  
李鐘郁（リー・ジョンウク）

使いやすい技術が必ずしも最も安価であるとは限りませんが、範囲の拡大を促進させます。3種混合・B型肝炎ワクチンのように、複数のワクチンを一つにまとめた注射は、各国の既存の制度に新しいワクチンを速やかに組み入れることを可能にします。これらのワクチンの供給が需要に追いつかなかったため、既に1,200万人以上の子供たちがB型肝炎のワクチンを受けられなかったものと推定されています。

<sup>1</sup> 2001～2002年にワクチン接種を受けた乳児数と、各国がGAVIに報告した2003年のワクチン接種目標人数をもとに、GAVI事務局長が推定。

## ワクチン接種の増加

新しいワクチンを接種した年間児童数

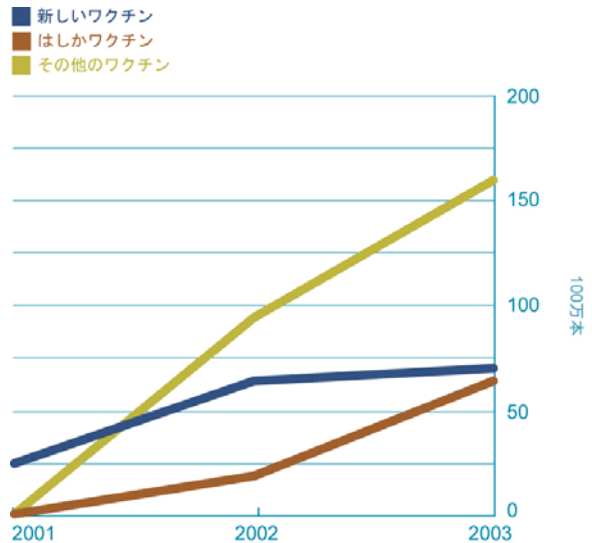


ワクチンプログラムは、実施が比較的容易で、効果が高く、高い評価を得ているため、急速に範囲を拡大することが可能。

\*2003年の推定範囲に基づく

## 予防接種の安全性の改善

使い捨て注射器の年間供給数



殺菌処理していない注射器は、HIVやB型・C型肝炎などのウイルスを広めてしまう可能性があります。使い捨て（安全）注射器は一度しか使用できないため、このリスクを注射器1本当たり0.063ドルという低コストで削減します。これまでにGAVIは、児童の予防接種用に、37カ国に4億8,600万本の注射器を提供しています。

## 資金提供の基準

ワクチン基金の支援を受ける国には下記の要件を満たす必要があります。

1. 1人当たりの国民総所得が1,000米ドル未満（年間）
2. 予防接種機関調整委員会（ICC）を通じて、資金および技術提供のための国内調整またはそれに準ずる協力体制が整っている
3. 予防接種サービスを提供するシステムに関して評価システムを最近実施している
4. その評価による勧告を盛り込んだ複数年の予防接種計画がある
5. 注射の安全性の改善計画がある

上記基準を満たす国は、下記の援助を申請することができます

- 80%以上の児童がジフテリア、破傷風および百日咳の予防接種（DTP3）を完全に受けている国は、その国の影響の大きさに鑑みて、適当である限り、B型肝炎およびヘモフィラス・インフルエンザ菌タイプB（Hib）または黄熱病のワクチンの支援申請が可能（B型肝炎用ワクチンを全世界的に使用することを勧告）。

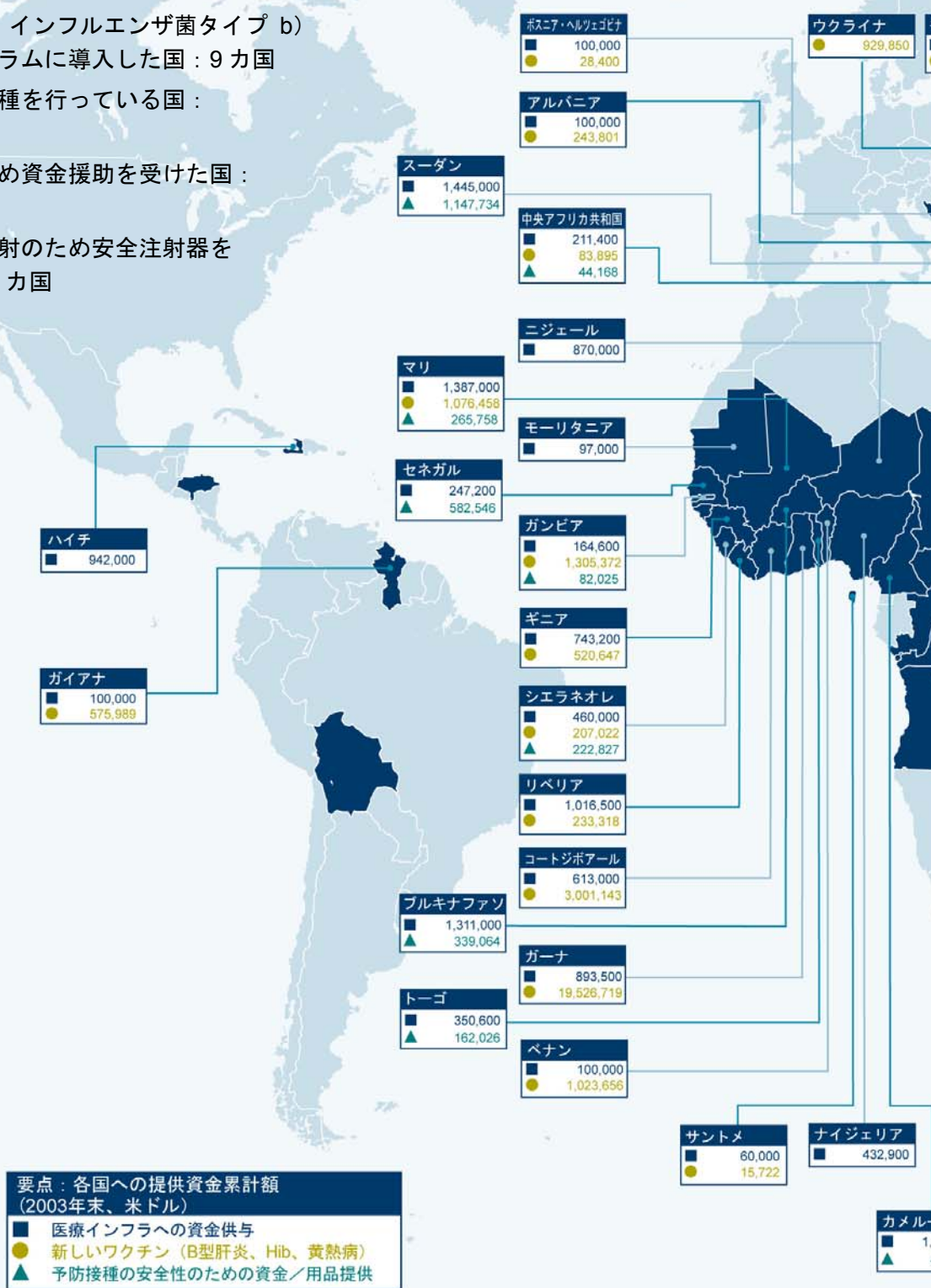
- DTP3の予防接種率が50%～80%の国は、達成支援プログラムに基づき予防接種の受療を拡大するため、上記のワクチン支援および財政支援の申請が可能。
- DTP3の予防接種率が50%未満の国は、予防接種の受領拡大充実のための財政支援と黄熱病ワクチンの申請が可能。50%以上のDTP3接種率を達成した国はB型肝炎およびHibのワクチンの支援申請できます。
- すべての該当国は、すべての予防接種注射の安全性を改善するための用品および資金供与の申請をすることができます。

# 投資：2億3,600万米ドルの成果：

## 提供された資金（2003年末現在）

### GAVI とワクチン基金のサポート

- 子供たちに B 型肝炎のワクチン接種を実施している国：40 カ国
- Hib（ヘモフィラス・インフルエンザ菌タイプ b）のワクチンをプログラムに導入した国：9 カ国
- 黄熱病のワクチン接種を行っている国：新たに 10 カ国
- 予防接種の改善のため資金援助を受けた国：48 カ国
- すべての予防接種注射のため安全注射器を使用している国：37 カ国

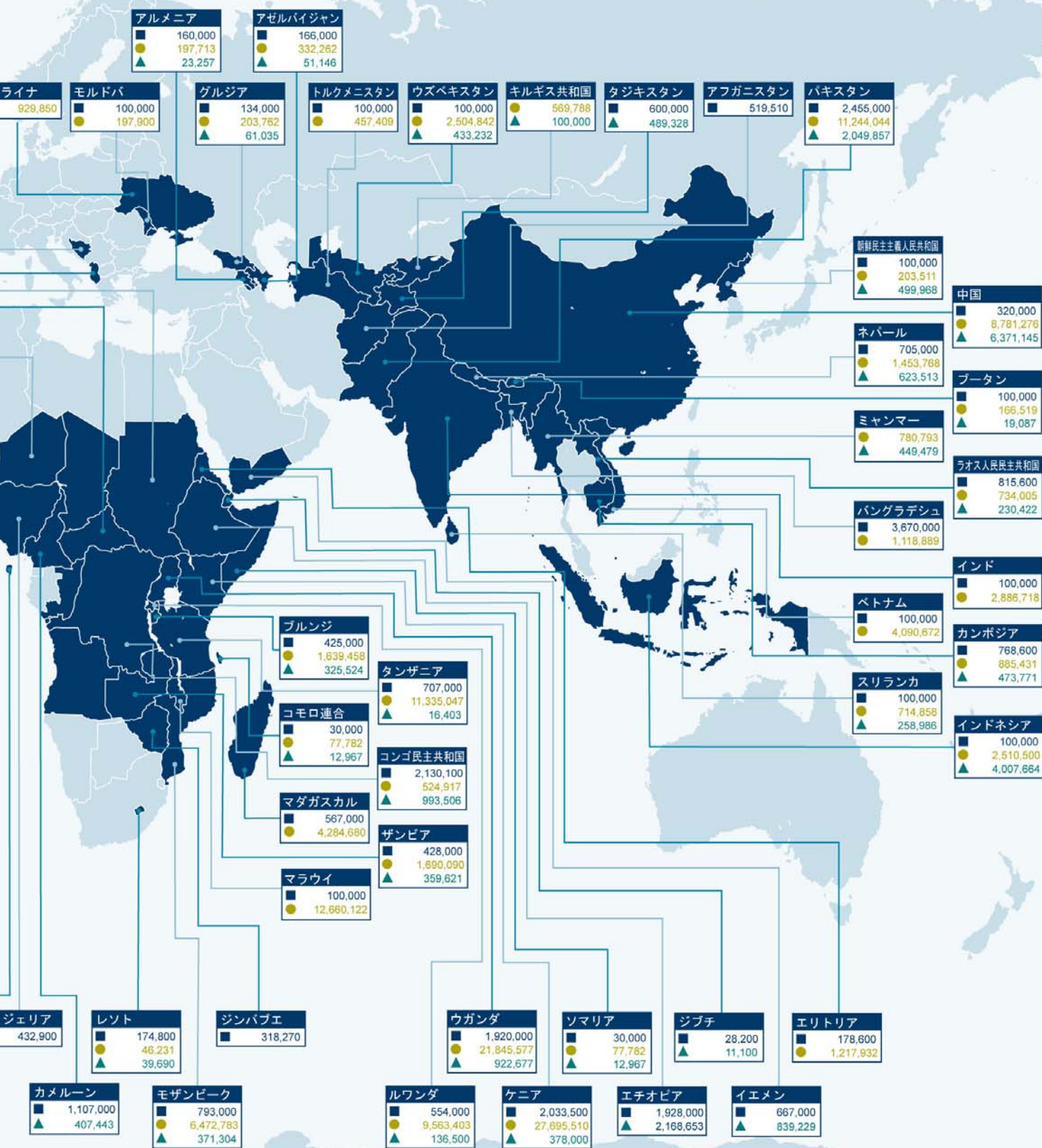


要点：各国への提供資金累計額  
(2003年末、米ドル)

- 医療インフラへの資金供与
- 新しいワクチン (B型肝炎、Hib、黄熱病)
- ▲ 予防接種の安全性のための資金/用品提供

# 50 万人以上の命を救う<sup>1</sup>

1 GAVI/ワクチン基金の支援を受けた国々で、2003 年 12 月までに  
 予防接種を受けた乳児数と、ワクチンで防げる疾病数をもとに、  
 (生涯の間に) 死亡を回避できた累積数を GAVI 事務局が推定。



# 躍進

## 貧しい子供たちもワクチン接種を受けられるプログラムを策定

GAVI のパートナー各国が国民の健康を改善（この場合はワクチン接種率の向上）するための資金イニシアチブを提供する実績主義の資金提供システムを考案しました。それは国際開発援助への実に斬新なアプローチです。

予防接種はガーナの健康サービスの中核をなしています。なぜなら予防接種においては貧困層の児童は差別を受けることはないからです。

ガーナ・ヘルス・サービス部長  
アジマン・バドゥ・アコサ教授

対象国は3年間にわたって、ジフテリア、破傷風および百日咳の3種混合ワクチン（DTP3）を受ける対象となる子供たちの追加人数に応じて、投資資金を受け取ります。このDTP3が、基本ワクチンの接種率の代替指標として使われます。その資金の用途に関しては国際的なルールはなく、対象国の政府および技術開発パートナーが現地での支出を決定します。唯一の国際ルールとして、対象国が追加資金あるいは実績に応じた資金を受けるには、資金提供後に接種範囲向上の成果について信頼できる報告書を提出する必要があります。予防接種範囲に関するデータは、制度の完全性を確保するため個別に監査を受けます。

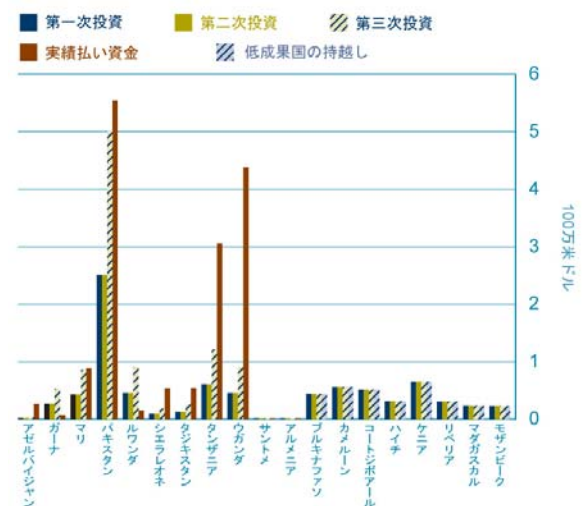
このシステムによって、予防接種が最も遅れているところへ資源を直接投入するインセンティブが構築されます。それは、ワクチン接種率の低い地域での所定の接種率を大幅に向上させるために、比較的容易な方法です。事実、対象国では資金のかなりの部分を地方レベル

でのサービスに費やす傾向が強まっています。現在まで19カ国が3年間の投資を受けました。タンザニアやウガンダのように、予防接種を受ける子供たちが増えた国々は、多額の実績払い資金を受けました。接種範囲が低かった国は2003年の受け取りを半分に抑え、残りを2004年に受けることができます。接種率と報告の質が改善すれば、こうした国も実績払い資金を受けとります。

2004年には、対象国がいかにこれらの資金を使っているかを、より詳しく検証するための調査が行われます。その結果、成果の可否にかかわらず対象国から一様に貴重な教訓が得られることが望まれます。

## 実績ベースの無償援助システム

### 2001年に資金提供の受領を開始した国



3年間の資金提供の受領国。4年目は実際に予防接種を受ける子供たちが増えた国だけが、実績による支払いを受領できる



# 挑戦

## 積極的な変化の継続を確保する

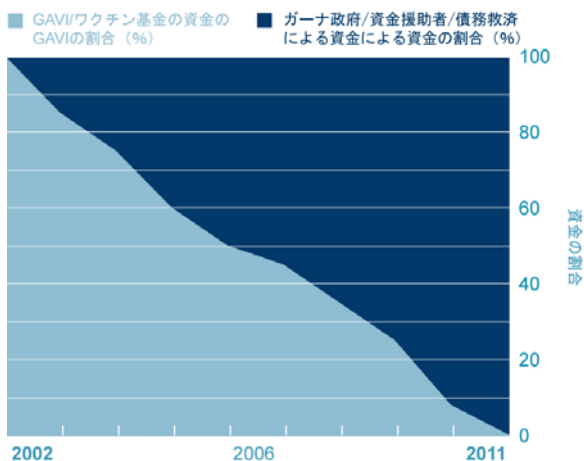
GAVI のパートナーは、資金を持続させることは途上国と援助供与者間の共同責任であると考えています。最貧国は経済が目覚ましい改善を見せるまで、財政的に自立することはないでしょう。開発努力はその究極目的のために取り組まなくてはなりません。しばらくの間は外部からの援助が必要です。ワクチン基金は新しい取り組みのための触媒作用を及ぼすか、あるいは既存の活動を再活性化することを目的としており、永遠に資金を供給するものではありません。複数年にわたる資金提供の約束は、対象国が 5 年間の支援の後にはワクチン基金による寄付に代えて政府の予算、債務救済策、開発ローンや他の援助・寄付など新しい資金ソースを手配するという理解の下でなされているのです。

高次の意思決定者が現在のコストを理解し、将来のコストを予測するとともに、資金の継続に関する GAVI のプランニングツールは、不必要なコスト削減、新しい資源の手配および基金の信頼性強化のための戦略を明確化するのに役立ちます。すでにいくつかの国において、GAVI の資金継続計画は十分な根拠に裏打ちされた予測を提供しましたが、それは長期予算の立案に対する参考データとして利用されつつあります。

ガーナは、5 年後にワクチン基金を突然終了するのではなく、段階的に行うための新しい資金源を確認しつつある多くの国の一つにすぎません。

ワクチンのコストを削減ことで、確実に持続させるために大いに役立つのです。ワクチン基金の資金源を予測することが可能であるがゆえに、多くの新しい DTP・B 型肝炎ワクチンの製造会社は、すぐに市場参入し、供給を増やし結果的に原価を下げることになるでしょう。

## ガーナにおける新ワクチンの資金源



ガーナは新しいワクチンの費用を賄うための新たな資金源を早期に開拓し、長期的な資金の持続に向けて取り組んでいる国の一例です。

## WHO による事前資格の取得メーカーと非取得メーカーがユニセフに提出した 3 種混合と B 型肝炎の混合ワクチンの見積価格



現在、発展途上国によるワクチン購入用に多額の資金が拠出されたことを受けて、多くの新ワクチンメーカーが最も需要の多いワクチンの生産能力拡大に投資している。

# 挑戦

## より長期にわたる資金源を開拓する

設立以来、ワクチン基金は最貧国のために、新しい資金源から 13 億ドルを調達しました。ビル&メリンダ・ゲイツ財団から計画とマッチング・ファンドの加速を目的とした 7 億 5 千万ドルの提供があり、世界の保健衛生に対する多年にわたる大規模なコミットメントの新天地を切り拓きました。また、近年、資金援助国が援助予算を拡大して寄付してくれることも、大変勇気づけられるものです。

新たなミレニアムのニーズを満たすには、開発に資金提供する方法を劇的に変える必要があります。「先行型」のような革新的な資金提供メカニズムにより、多大な投資を今後行って新しい技術を開発し、あるいは既存の技術を活用して、将来において死亡、罹患率およびコストを減少させることが可能になるかもしれません。

ジュリアン・ロブレイヴィツ、英国国際開発省  
チーフ・ヒューマン・デベロップメント・  
アドバイザー

GAVI のパートナーは 2000 年に 5 年間の構想をもってワクチン基金を設立しました。パートナーは新しい計画が何らかの評価できる初期結果を生むまでは、より長期の計画を保留することにしました。開始後 4 年経ち、援助国と発展途上国は GAVI に対し、最低でも 2015 年まで事業を延長するよう要請しました。

次の 10 年間で計画するに当たり、GAVI は開発援助の拡大、特に健康関連の援助拡大の推進を支援していきます。GAVI はパートナー、援助提供者および発展途上国間で、予防接種への取り組みに対する全般的な支出の増大を求めます。また、独自の資金供給源開発の目標を、

国際開発における GAVI の独特な役割を支える新たな資金源の開拓に置いていきます。GAVI の付加価値のある投資地域は下記のように規定することができます。

- 時間的制限：GAVI は触媒の役目をする資金を供給し、長期的持続を確保するための革新的なアプローチを創造します。
- 先行型：短期間での多大な初期投資は長期的なコスト低減に繋がり、長期にわたる持続可能性を増やすことができます。
- 実績ベース：GAVI は引き続き実績を重視します。実績に基づいた指標の中にはまた、投資の付加価値として、パートナーシップの効果、調和、世界規模の支持および政治的動員を達成することも含まれています。

### 2000 年以降のコミットメントの累積

(100 万米ドル)

ビル&メリンダ・ゲイツ財団	754
カナダ	30
デンマーク	1
欧州連合	1
フランス	19
アイルランド	1
オランダ	86
ノルウェー	121
スウェーデン	5
イギリス	62
米国	219
その他私的団体・個人	5
合計	13 億

# 挑戦

## 児童の予防接種のための キャンペーン

GAVIでは、あらゆるワクチンの接種を受けられる子供たちと、そうでない最貧国の子供たちとのギャップを埋めようと取り組んでいます。この活動を支援する新しいキャンペーンが進められています。

ワクチン基金は迅速に活動を立ち上げ、早くから実績を上げることができたため、2003 年末までに、利用できる資金の約 95%を約 70 カ国における予防接種の改善に充当してきました。今日の課題は、こうした達成を最大限に活かすため、ワクチン基金の資金を補充することです。

大きな進展があったにもかかわらず、依然として何百万という子供たちが、予防接種を含め最も基本的なプライマリー・ヘルスケアを受けられない状態に置かれています。ワクチン基金の今後数年間の目標は、児童予防接種の初期の成功をもとに、すべてのパートナーと協力してまだ受けられない子供たちに予防接種を広めることです。その達成には、保健医療制度の強化、ワクチンや注射器の購入、訓練、および具体的な予防接種サービスの支援のためにさらなる資金が必要です。GAVIとワクチン基金は、2006年までに百万人の生命を救うことを目標としています。

ワクチン基金とともに、GAVIのパートナーは世界の公衆衛生について、基本的な問題の解決に向けて動き始めました。それは何百万人もの子供たちの病気や死と関連する問題、即ちワクチンがあって予防接種を受けられる先進国の子供たちとワクチンの一部が手に入らないか、一切のワクチン接種ができない最貧国の子供たちとの、生死を分ける巨大なギャップという問題です。全ての子供たちは基本的なヘルスケ

アを受ける権利があるという概念は、「児童の権利に関する条約」にはっきりと記されているのです。

**幼児が生きるか死ぬかはワクチンが手に入る国に生まれるか否かによることがあまりにも多すぎる、それは基本的な公正さの問題である。**

ネルソン・マンデラ  
元南アフリカ大統領

しかしながら、世界の最貧国の子供たちに入手可能なすべてのワクチンを与えるという GAVI の約束を確実に実現するためには、継続した努力、パートナーシップと資金リソースが必要です。それには世界規模のコミットメントとさらなる資金が必要です。児童予防接種のためのキャンペーンは 2 つの点を実行することを目指しています。1 つは入手可能なワクチンの接種に関して南北間で大きな不均衡があることについて先進国の認識を深めることです。2 つ目は援助国政府、各種財団、民間のリーダーに対し、この不均衡を解消し、健康と予防接種のために使えるリソースを増大させるという GAVI のパートナーの取り組みを支援するよう説得することです。

# GAVIのパートナーについて

**発展途上国の政府**は国の健康医療制度を通じて、子供たちに予防接種を実施しています。政府の厚生省が国内での調整を管理しますが、通常は関係機関調整委員会を介して行います。この委員会は、GAVIの業務においても非常に重要なものとなっています。

**発展途上国のワクチンメーカー**は、購入できる価格でワクチンを製造し、発展途上国で販売しています。GAVIに触発され、発展途上国のワクチンメーカー間の協力をさらに堅固なものにする、新たなネットワークが構築されました。

**先進工業国の政府**は、政治的コミットメントを築き、健康問題を開発支援の優先課題と定める上で、助力しています。援助国の政府は国内の調整グループへの参加や、医療分野と予防接種プログラムへの財政的および/または技術的な支援提供を通じて、医療および予防接種プログラムの向上に努める諸国をサポートしています。

IFPMA（国際製薬団体連合会）が代表する**先進工業国のワクチンメーカー**は、その設立当初からGAVIのパートナーであり、現在のメンバー企業には、アベンティスパスツール、ベルナ・バイオテック、カイロン、グラクソ・スミスクライン、メルク、ワイスなどが名を連ねています。メンバー企業の最も重要な職務は、ワクチンの開発、製造、そしてあらゆる国でそれを販売することです。

**ビル&メリンダ・ゲイツ財団**は、全世界的な医療活動に資金を提供しています。特に注力しているのが、予防接種の支援とその重要性に対する認識向上です。感染症の予防と管理に焦点を当てたプロジェクトへの支援額は、10億米ドル以上にのぼります。これらの支援金は、科学者、大学、非政府組織（NGO）、民間企業の間で連携を構築する上で役立っています。この連携の目的は、すべての子供たちが確実にワクチン接種を受けられるようにし、また新しい医薬品、ワクチン、診断法を確実に開発し提供することです。

**非政府組織（NGO）**には、子供の健康と予防接種の分野に関わってきた、長い歴史があります。政府のプログラムに技術的なアドバイスやスタッフを提供するNGOもあれば、財政援助を行うところもあります。

**公的な健康・研究機関**は、世界的な予防接種について政策的提言を行い、監視や品質管理の検査施設としての役割を果たし、研究開発のキャパシティの拡大をサポートするため技術スタッフを提供しています。

**世界銀行グループ**は貧困削減のために尽力しており、伝染病との戦いに資金提供を増額し、国際開発援助資金の柔軟な使用によって予防接種を拡大しています。今や予防接種は、債務免除の適格性を判断する上で重要な医療指標であることが、重債務貧困国（HIPC）イニシアチブで定められています。

**ユニセフ**は、日々の予防接種を通じて世界中の子供たちの健康を守るという、世界的な取り組みの重要な役割を担ってきました。組織的な優先活動の一つとして「予防接種『プラス』」を行っているほか、スイスのジュネーブにあるGAVI事務局を運営し、ワクチン基金に運営上の支援を提供し、多数の国々にワクチン基金の援助金を提供しています。また、GAVIパートナーを代表して、ワクチンや安全な注射器・関連用品を調達しています。

**WHO**はグローバルな公共医療における世界的リーダーで、GAVIに対して専門知識や戦略的支援を提供しています。さらに、各地の現場にいるWHOスタッフは、GAVIの目的をサポートする上で重要な役割を果たしています。